

# 光ケーブル架設工における安全対策について

(株)東芝 北陸支社 防災情報配信設備設置工事

(工期：平成17年9月10日～平成18年2月28日)

現場代理人 ○阿野 日出夫

主任技術者 瀬戸 義仁



## 1) はじめに

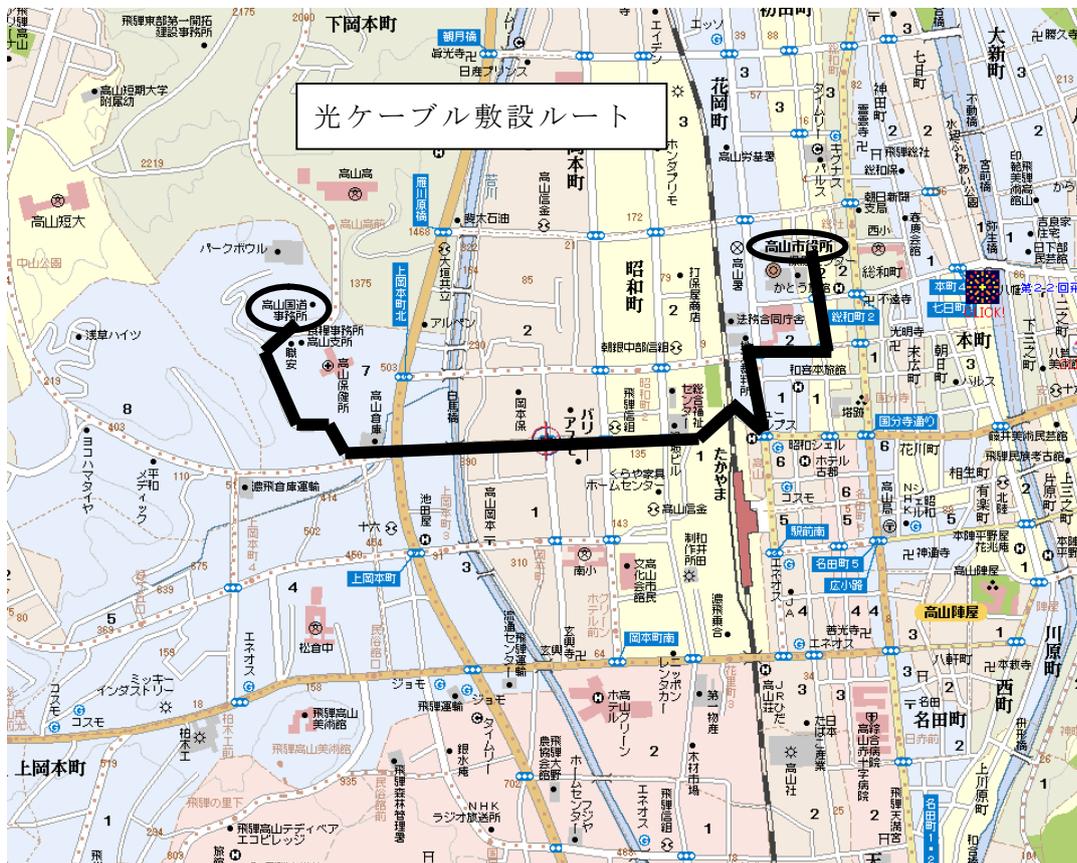
本工事は、神通川水系砂防事務所管内の画像を配信し防災情報監視システムを構築するものです。

工事内容としましては、①防災監視システム設備の新設②防災監視システム既設設備の付加及び改造③光ケーブル布設④監視用カメラ新設などがありました。

その中で光ケーブル架設工における安全対策について報告致します。

## 2) 光ケーブル架設工の概要

本工事で、光ケーブル敷設は高山国道事務所の既設成端箱から高山市役所まで中部電力・NTT柱に共架施工するものであります。



### 3) 安全対策の内容

本工事は、作業現場が1箇所ではなく現場から現場へ移動しながら作業を行い、作業期間も短い為、現場事務所の設置を行わなかった。

そこで問題になるのは、緊急時の連絡先になります。

現場責任者、指示者が現場から離れた場合に作業員が緊急時の連絡先が解からないと思いました。

そこで、本来は現場事務所に掲げている緊急時の連絡先や建設業の許可証、安全標語などを常に持ち歩き作業を行うすぐ近くの場所で常時作業員の見やすい場所に掲示しました。

#### 携帯用ビニル掲示板

丸めて持ち運べるし掲示するのもすぐにできるので便利でした。



# 設置状況写真

下の写真のように作業員の近くに掲示ができ設置場所を選ばない。



#### 4) 従来の方策

従来は、緊急連絡先や建設業の許可証をコンパネなどに貼り付け電柱などに番線などで縛って掲示していた。

#### 5) 従来の問題点

持ち運びが不自由で設置するにも時間がかかり又、作業員の近くでの設置が難しかった。

#### 6) 結果

作業員が緊急時に慌てることなく連絡できる安心感が得られました。また、作業員に対し緊急連絡先の周知徹底に役に立ちました。

無事故だった為使用する事はなかったが、作業員の近くに掲示することで現場の安全に対する意識がより高まった。